

南アルプス大武川一の沢アイスクライミング報告

(日時) 2018年1月23日～1月26日

(メンバー) 単独

(行程)

1月23日 新潟発22:35(高速夜行バス)

1月24日 新宿発(7:00)一小渕沢一日野春(9:10～9:40)一人面橋
(10:40～10:50)一下の大滝上(16:30)

一の橋まで、タクシーで入りたかったが、手前の人面橋まで、タクシーで入り、そこから歩いて入ることにする。

林道をしばらく歩き、雛山北陵に取り付き、1393m地点より、沢に降りる。一の沢に下降するトレースがあったので、そのトレースを頼りに一の沢に降りる。



1393m地点

下の大滝(50m?)は、氷の状態が悪く、右岸から高巻く。



下の大滝

今日は、下の大滝の上の岩小屋のある平坦地にツエルトを張って、今日の行動終了。

1月25日 下の大滝(6:30)一大滝下(7:00)一大滝上(11:00～11:40)一中滝終了点(13:50)一下の滝上(16:30)

大滝1P

出だしの切り立った斜面を登って行く。一旦傾斜が緩み、左側壁が近づいたあたりで、スクリューで、ビレイをとる。

大滝2P

大滝中間部左よりは、ツララ状。滝の右寄りを登って行く。このあたりが最も傾斜が強い。

大滝3P

回り込むと落ち口に出る。実質的に登攀終了。



大滝

大滝の上は、ナメ滝。ナメ滝を登って行くと、中滝がある。スケールは、大滝に劣るものの、上部は、ヴァーチカル。

中滝 1P

意外と切り立っている。一部はツララの集合体で、登り辛い。25mほど、登ったあたりで、ピッチをきる。

中滝 2P

左から回り込むようにツララっぽいところを抜ける。結構難しい。ここから核心か？

結構切り立っている。ヴァーチカル状の氷瀑を登って、終了。



中滝

下降は、しっかりした灌木から、ダブルロープで下まで、下降。

大滝の下降は、左岸から下降。急な尾根沿いをしばらく下ると、灌木にスリングし、そこから25mほどの懸垂2回。そこから、灌木にスリングして50mの懸垂で、下までたどり着く。

1月26日 下の大滝上(7:00)一人面橋(11:00～11:50)一日野春
(12:50～13:23)－
甲府－新宿(16:03)－東京－新潟